

「後期高齢支援システム標準化検討会」

第7回議事概要

日 時：令和6年3月25日(月) 13:30～14:45

場 所：オンライン会議(Zoom)

出席者(敬称略)：

(座長)後藤 省二 株式会社地域情報化研究所 代表取締役社長

(構成員)

市野塚 杏子 佐野市健康医療部医療保険課長寿医療係 主事
関藤 賢司 渋谷区国民健康保険課長
川嶋 裕士 江戸川区健康部医療保険課高齢者医療係 主査
富田 義憲 川崎市健康福祉局医療保険部医療保険課 システム担当係長
林 浩之 西海市長寿介護課長

中野 勇氣 北海道後期高齢者医療広域連合 業務班長

三浦 裕和 株式会社RKKCS 企画開発本部保険福祉システム部 部長
石井 貞行 株式会社TKC 福祉情報システム第三技術部 課長
村上 朋博 株式会社日立システムズ 公共情報サービス第一事業部
公共パッケージ開発第二本部 パッケージ開発第六部 課長
片岡 秀樹 Gcomホールディングス株式会社 第1製品開発部住記1課
玉置 直人 日本電気株式会社 住民情報システム開発統括部
プロジェクトマネージャー
田中 卓 富士通Japan株式会社 ソリューション開発本部
社会保障・フロントソリューション事業部 マネージャー

(オブザーバー)

池端 桃子 デジタル庁デジタル社会共通機能グループ地方業務システム
基盤チーム 地方業務標準化エキスパート
岩井 輝義 デジタル庁デジタル社会共通機能グループ地方業務システム
基盤チーム 統括官付参事官付主査
巢瀬 博臣 厚生労働省大臣官房情報化担当参事官室 室長補佐
吉本 明平 一般財団法人全国地域情報化推進協会企画部 担当部長

【議事次第】

1. 出席者確認
2. 第7回検討会の進め方について
3. 後期高齢支援システムの標準仕様書 1.2 版策定に向けた作業について
4. 標準仕様書 1.2 版について
5. 検討・課題一覧
6. 標準仕様書 1.2 版の決定について
7. 今後の依頼事項について

【意見交換(概要)】

(3. 後期高齢支援システムの標準仕様書 1.2 版策定に向けた作業について)

- (2.2. 指定都市残要件の取り込み)
指定都市要件等について事務局より説明があったが問題ないか。
⇒問題ない。

(4. 標準仕様書 1.2 版について)

- (QR コードに関する記載の変更について)
QR コードに関する記載の変更について、デジタル庁から指示があり「二次元コード」という記載に変更するという説明だったが、これは後期だけでなく標準化検討に関係する全業務が該当するという事か。
⇒そのように理解している。デジタル庁からは次版改定時に修正するという指示であったため、既に公開済みの業務は次版に反映することになると思うが、後期は 1.2 版公開に間に合うと判断したため反映することとした。
⇒QR コードという名称が商標登録されていることは認識していたが、一般的に広く使われていることから記載について許容されているものと考えていたが、デジタル庁において、統一して変更する方針が示されたため、自治体の皆様もそのようにご理解いただきたい。

(5. 検討・課題一覧)

- (検討・課題一覧について)
検討・課題一覧にはクローズされたものもあるが、本日時点で残っているものは何件あるか。
⇒残件は 5 件となる。
⇒年度内にデジタル庁から展開があつて完了となる可能性があるものはあるか。
⇒No. 32 については、展開があればクローズとなる可能性がある。ただ、DV 支援措置対象者の相手方の情報連携について、機能帳票要件上は連携要件が規定されたら実

装するという扱いにしているため、データ要件連携要件の修正版の展開がなくても、仕様書の規定上は影響を及ぼすものではないと考える。

(全体を通して)

- 全体を通して何かご意見あれば頂きたい。
⇒十分皆様にて議論いただいているため特に意見はない。まだ他業務との横並びという観点では、差異のある箇所があると思う。それぞれの業務が並行して議論している以上やむを得ないところと思うが、来年度以降はある程度落ち着いてくるので、全体のバランスを取る点についても進めていければと思う。

- 6. 標準仕様書 1.2 版について、事務局案のとおり、決定することに異議ないことを確認した。今後、厚生労働省において公表することとなる。

- 7. 今後の依頼事項について、事務局から説明を受け、特に質疑なく、内容を確認した。

以上